

授業計画（シラバス）

担当教員：Ichiro Kawachi 客員教授

授業科目の名称	健康行動科学 / 社会疫学		
単位数	1 単位	授業の方法	集中講義
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none">社会階級、性別、貧困、収入格差、ソーシャルネットワーク/サポート、コミュニティの結束、心理社会的な仕事環境、近隣関係など社会的要因が人々の健康に及ぼす影響について理解できるようになる。上記の考え方をいながらハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを説明し、コミュニティレベルの健康決定要因、ソーシャルキャピタル、職場ストレスモデルなどに基づいた人々の健康問題への介入方法を提言できるようになる。			
授業の概要 <p>人々の健康状態を評価しその理論モデルを構造化するための基本知識を網羅する講義を行う。疫学研究を実証的に進めるために必要な概念や手法を学ぶ。</p>			
授業計画（各コマ 90 分） <ol style="list-style-type: none">健康の社会決定要因の概説（1月10日(木)9:00-10:30)予防のパラドックスと予防の戦略（1月10日(木)10:45-12:15)社会経済状態、測定と原因とみなせるエビデンス（1月11日(金)9:00-10:30)収入格差と健康（1月11日(金)10:45-12:15)ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポートと健康（1月12日(土)9:00-10:30)ソーシャルキャピタル、社会の結束と健康（1月12日(土)10:45-12:15)心理社会的な仕事環境と健康（1月13日(日)9:00-10:30)健康格差の是正：政策の観点から（1月13日(日)10:45-12:15) <p>※英語力や準備知識の不足で援助が必要な学生に対しては、日本人教員・Teaching Fellowによる補講を各講義の後に行う。</p>			

テキスト

Berkman LF & Kawachi I (eds). Social Epidemiology. New York: Oxford University Press, 2000.

参考書

講義で紹介。

学生に対する評価

コース終了後に、4つのショートエッセイ形式の問題を含めた2時間の筆記試験を行う。